

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

【研究課題名】 低濃度アトロピン点眼長期使用後の瞳孔径と調節機能の変化

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院研究責任者

職位・氏名 眼科 助教・松村沙衣子

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

近視治療である低濃度アトロピン点眼治療は、瞳孔径や調節力に影響し、稀に近見障害や羞明を起すことがあります。そこで、東邦大学医療センター大森病院では今回、近視の小児患者において、屈折検査、調節力検査、矯正視力、瞳孔径、眼軸検査、自覚症状質問票等を診療録から後ろ向きに検討し、低濃度アトロピン点眼の長期使用で瞳孔径や調節力がどのように変化するか、また副作用の発症率を検討する目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者様に対してよりよい医療を提供するための情報を発信できることにつながります。対象者：2021年6月から2022年7月までに東邦大学医療センター大森病院眼科において、低濃度アトロピン点眼の近視治療を受け、その後外来で半年間の定期的な検査を施行する患者様の診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

過去の診療録より性別、年齢、全身疾患の有無、眼疾患の有無、眼疾患手術歴と術式、併用点眼と治療歴、オートケラトメーター検査値（角膜屈折、角膜曲率、等価球面度数、調節力）、遠見と近視の自覚的・他覚的矯正視力、瞳孔記録計検査値、眼軸、自覚症状質問票内容を抽出します。

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【利益相反について】

本研究においては、研究責任者（堀裕一）が得ている講座研究費を使用します。研究者の中で堀裕一は検査機器の販売企業から、講演料ならびに研究寄付金を受けており、利益相反があります。本研究は研究者主導で立案した研究であり、特定の検査機器や薬剤と比較した研究ではありません。またデータの解析は利益相反のない研究者が行い、相互にデータをチェックできる体制で行います。このため利益相反状態であっても研究成果の客観性は保たれると考えられます。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 眼科職位・氏名 助教・松村沙衣子
電話 03-3762-4151 内線 6710